

# 「死亡時画像診断による教育支援プログラム～人間性豊かな医師の育成を目指して～」について

## 1 取組の趣旨

- ・ 医師として人間性の豊かさは患者・家族との信頼関係の構築や医療の実践に極めて重要。
  - ・ 核家族の増加などにより、身近な人の死をも経験することなく医学部を卒業する学生が増加。患者・家族と適切に接することができない若手医師が増加。
- ⇒ このため、本取組においては、人間性豊かな人格形成を促すことを目的として、学生に“患者の死”を体験させる。これを契機とし、医師として必要な生命の尊厳や死生観などの感性を身に付けさせるとともに、Ai や病理解剖による医学知識、医学的な思考過程について学修させるもの。

## 2 取組の内容

- ・ 死亡時画像診断（オートプシーイメージング：Ai）と病理解剖を行った症例について臨床病理検討会（clinico-pathological conference：CPC）の教育カリキュラムに盛り込むことにより、学生に“患者の死”を体験。
- ・ 遺族の心情をくみ取る場（遺族との面談・対話）を提供。
- ・ 学生主体の臨床病理検討会を開催し教員を交え総合的に討論。
- ・ 対象は第5、6学年の全学生（各100名、計200名）。

## 3 実施期間 平成20年度～平成22年度（3年間）

### ※参考1（質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）概要）

○ 事業の趣旨	特色GPと現代GPを発展的に統合し、大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学等（※）から申請された、教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質保証、国際競争力の強化を図る。（※「大学等」とは大学、短期大学、高等専門学校をいう。）
○ 予算額	平成20年度予算額：86億円
○ 採択件数・申請件数	採択件数：148件・申請件数：939件（489大学等）

※参考2（本学の採択

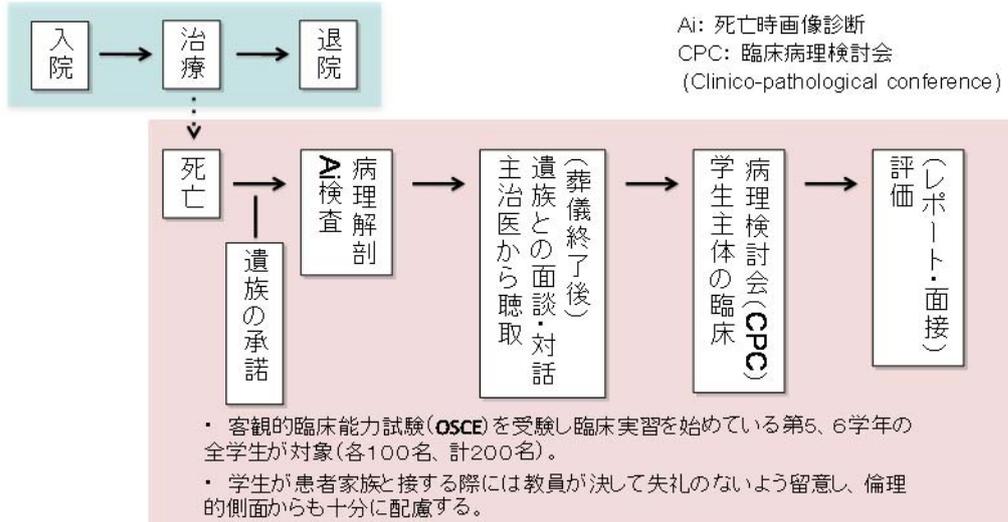
実績（平成15年度～19年度）

年度	GP名	取組の名称
平成16年度	現代GP	地域密着型チーム医療実習
平成17年度	現代GP	医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育
平成18年度	現代GP	高大一貫型プログラムによる効果的職業教育
平成19年度	特色GP	学部一貫教育による地域医療マインドの形成
	現代GP	双方向型医療コミュニケーション教育の展開（北海道医療大学との共同申請）

**参考資料**

○取組の内容・プロセス

- ・ 死亡時画像診断と病理解剖に参加することで学生が“患者の死”とその状況を体験
- ・ 遺族の心情をくみ取る場、疾病病態をより深く理解する場を提供
- ・ 学生主体の臨床病理検討会を開催し教員を交え総合的に討論



○取組の全体像

